

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フローレンス南竹屋町	階数	地上13F
建設地	広島市中区南竹屋町2番15他	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域 防火地域	平均居住人員	136 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年8月31日
敷地面積	599 m ²	作成者	
建築面積	323 m ²	確認日	2019年8月31日
延床面積	3,062 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> <p>環境品質 G</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 83% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の 83%</p> <p>④上記+ 83%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能 5</p> <p>Q1 室内環境 4</p> <p>Q3 室外環境(敷地内) 3</p> <p>LR1 エネルギー 2</p> <p>LR2 資源・マテリアル 1</p> <p>LR3 敷地外環境 1</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.6</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0</p>

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア = 2.7		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.2</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 1.6</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 2.0</p>
<p>設計の計画段階に配慮した事項</p> <p>住宅性能評価断熱等級4を確保 // BEI0.85を確保 // 可能な限りCO₂を削減</p>	<p>設計の計画段階に配慮した事項</p>	<p>設計の計画段階に配慮した事項</p> <p>排気ダクトにスパイラルダクトを採用 /</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される